

総合戦略（地方創生先行型）事業に係る効果検証シート

No	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	実施内容	事業費 (円)	評価内容	目標値 (H27)	実績値 (H27)	評価及び今後の方針等 (内部（庁内）評価)	外部有識者等からの意見 (外部評価)
1	古平町総合戦略策定事業	古平町における課題を把握し、今後5カ年の目標や施策をまとめた「古平町総合戦略」を策定する。	▼町民アンケートに係る事務経費、まち・ひと・しごと創生推進委員会の運営費 ▼人口ビジョン・総合戦略策定支援業務委託料 ○将来人口推計等	170,498 7,668,000	-	-	-	-	-
2	古平町HP改修事業	HPを改修することにより、観光情報や移住希望者に役立つ生活関連情報を一体的、効果的に提供する。また、地元特産品のPRを目的に実施している「ふるさと納税」の充実を図る。	▼古平町HP改修業務委託料 ○デザイン変更、スマートフォン対応等 ▼ふるさと納税担当臨時職員の人件費 ○贈呈品の充実として、H27.8より品数の増加（9品 → 32品）	2,639,520 766,800	HPアクセス数 寄付件数	年間89,500件 年間5,000件	92,567件 25,381件	【評価】①地方創生に非常に効果的であった【今後の方針】ふるさと納税は、地元企業の売上に貢献していることから、継続する。【本年度の取組内容】申込サイトにPR広告を掲載する。期間限定で「塩水ウニ」の提供を進めるなど、魅力ある品の提供を図っていく。	【評価】有効と整理された。【意見】ふるさと納税は、地元経済にも寄与している事業であるが、自治体間競争が激しくなっているため、常にアンテナを張って、寄附者のニーズに沿うよう進めていただきたい。
3	古平町観光プロモーション事業	古平町はニセコ積丹小樽国定公園内に位置し、近隣には冬のニセコリゾート、夏の積丹海岸などがある。また、隣接する余市町はテレビで放映中のドラマの影響で多くの観光客が訪れているが、当町の知名度は低い。こうした地理的な優位性を観光につなげるためプロモーション活動を推進する。	▼プロモーション映像作成業務委託料 ○総括編、祭り編、観光編、移住編 H28.3 町HP、全国移住ナビで公開 動画視聴数 約4,800回（H28.7） ▼観光パンフレット作成業務委託料 ○日本語版20,000部、英語版5,000部作成 ▼マスコットキャラクター-PR事業補助金 ○着ぐるみ2体、エコバッグ1,600作成、シール大・中・小各10,000枚	3,931,200 1,566,000 3,256,000	移住に関する相談件数 観光客入込数	5件 91,000人	1件 89,737人	【評価】③地方創生に効果があった【今後の方針】町マスコットキャラクターを使った町PR活動は一定期間実施することでの定着が必要であるため、継続する。【本年度の取組内容】「ふるっぴー」ファイル・切手作成、シールは増刷。「新・ご当地グルメ」を開発中。	【評価】有効と整理された。【意見】HPだけではなく、町内でも人が集まる場所にプロモーション映像を流すことで、町を知ってもらおうようにすることが必要だ。パンフレットについても、せっかく英語版を作ったのであれば、外国人が集まる場所（町外も含めて）に置くことが必要だ。
4	古平町異業種交流事業	町内在住もしくは町内に就業する青年層を対象に、交流会を実施し、人材の定着を図るとともに、出会いの場を創出する。	▼異業種交流実行委員会運営事業補助金 ○実行委員 18名 ○交流会に係る意見交換会（6回） ○先進地視察（岩見沢市の婚活イベント視察） ○交流会18名参加 文化会館太陽 1組のカップル成立	497,249	開催回数 参加者数	1回 60人	1回 18人	【評価】③地方創生に効果があった【今後の方針】本年度以降、実施方法を含めて有効な手段を検討し、継続する。【本年度の取組内容】交流会を昨年同様に12月に1回開催する予定。	【評価】有効と整理された。【意見】12月に1回だけではなく、複数回の実施を検討する必要がある。
5	古平町創業支援事業	新規創業者のHP開設に対する補助、新規雇用に対する助成により、域内に「稼ぐ力」を創出する。	▼創業者HP開設支援補助金 ○補助者 かねきち吉野、ヤマダイふじた ○実績(PV)かねきち約3,000回 ヤマダイ約28,000回 ▼新規雇用促進奨励金 ○補助者 かねきち吉野 ○賞金支払額の20%（1人につき20万円、1事業所あたり100万円を上限）	1,962,000 1,000,000	新規HP開設創業者 新規雇用者数	2社 5名	2社 9名	【評価】①地方創生に非常に効果的であった【今後の方針】地元雇用への寄与があることから、継続する。【本年度の取組内容】雇用促進奨励金要綱上、最長3年間の助成期間となっている。H28は、かねきち吉野に加え、2社追加予定。	【評価】有効と整理された。【意見】特になし。
6	移住定住促進事業 (H27.11追加)	町内に点在する空き家の状況を把握し、データベース化することで、移住者の受け入れ体制を構築する。また、町内には不動産業者がいないため、データベースを活用して、空き家バンクとして登録を促し、売買等の取引の活性化を進める。	▼空き家台帳システム導入等委託料 ○空き家調査の実施と管理システムを導入 ○調査結果 空き家130戸	3,899,880	空き家バンク新規登録件数	年間3件 1件(H26)	0件 3件(H28)	【評価】④地方創生に効果がなかった【今後の方針】今後はシステムの活用を進めることと、移住定住に向けた補助制度を新設することで移住定住を進める。【本年度の取組内容】H28から移住・定住補助制度の充実。H28.5 固定資産税納付書に空き家バンクチラシ同封。	【評価】有効と整理された。【意見】実施時期が遅いため、KPIの達成はならなかったが、H28からは効果が見られており、一定の効果はあると考えられる。今後は、このシステムを活用するなどした空き家バンク制度のPRを進めていただきたい。
7	新製品開発支援事業 (H27.11追加)	町内加工業者の高圧殺菌装置導入に対する補助を実施し、新たな製品開発を支援することで域内に「稼ぐ力」を創出する。	▼高圧殺菌装置購入事業補助金 ○補助者 東しゃこたん漁協生産部 ○新製品 たこの柔らかか煮 カスベの煮付け アワビの煮付け	6,264,000	新製品開発数	年間3件	3件	【評価】②地方創生に相当程度効果があった【今後の方針】町PR等に有効である製品を開発するなどの要望があれば、再開を検討する。【本年度の取組内容】なし	【評価】有効と整理された。【意見】特になし。
				33,621,147	← うち交付金交付額 33,008,000円				